

# 報道関係者と民博との懇談会

# 話題一覧

2024年11月21日(木)15:30~17:00

懇談会

## 1. 挨拶

— 吉田 憲司 (館長) —

## 2. ニュースリリース

●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 山中 由里子 (議長) —

## 3. みんなの映画会

詳しくはこちら

### 『ペトルーニャに祝福を』

高学歴を生かせず不遇なペトルーニャは、手にした者に幸運を授ける十字架を偶然手にします。しかし、十字架は本来男性のみが手にできるものとされていました。この映画から東地中海世界の男性優位主義と一神教の関係を解き明かします。

みんなの映画会 創設50周年記念

## みんなのワールドシネマ

映像から世界の“今”を考える

# ペトルーニャに祝福を

第58回上映会

2024年12月14日(土) 13:30~16:15 (開場13:00)

国立民族学博物館 あんぱくインテリジェントホール (講堂)

上映時間 2024年11月11日(月) 10:00~12月11日(水) 16:00

料金 580名

主催 国立民族学博物館

Господ постое, името ѝ е Петрунија  
God Exists, Her Name is Petrunya

2018年、北マケドニアフランス・ベルギー・クロアチア・スロヴェニア共同制作  
マケドニア語・100分・日本語字幕  
監督 宇野浩二 (オランダ出身) 監督 アスラ  
出演 フリッツァ・メソウバ、ソビタ・ニヤスカ  
原簿 菅瀬晶子 (国立民族学博物館 准教授)

申込について  
事前申込制(先着順)での開催となります。  
代表者を含め2名まで申込可能です。  
【受付期間】2024年11月11日(月)10:00~12月11日(水)16:00  
※会場に申込受付係がいます。  
※観覧券は事前申込制となります。  
※観覧券は1枚100円です。  
※観覧券は1枚100円です。  
※観覧券は1枚100円です。

申込方法  
●イベント予約サイトからの申込  
(イベント予約サイト)  
<https://entry-reservation-event.minpeku.ac.jp/>  
●電話での申込  
※申込受付時間: 10:00~16:00 (土日祝祭日を除く)  
※申込受付時間: 10:00~16:00 (土日祝祭日を除く)  
※申込受付時間: 10:00~16:00 (土日祝祭日を除く)

国立民族学博物館  
National Museum of Ethnology

日時 2024年12月14日(土)  
13時30分~16時15分(12時30分受付・開場)

会場 みんなのインテリジェントホール(講堂)

司会・解説 菅瀬晶子(本館 准教授)

定員 350名(要事前申込み/先着順)

参加費 要展示観覧券(イベント参加費は不要)

申込期間 12月11日(水)まで

— 菅瀬 晶子 (超域フィールド科学研究部 准教授) —

## 4. 能登半島での文化財救援活動の近況報告

詳しくはこちら

石川県・能登半島で文化財レスキューに携わる日高真吾教授が近況を報告します。

— 日高 真吾 (学術資源研究開発センター 教授) —

## 5. みんなく創設 50 周年記念・特別研究国際シンポジウム

### 「国家とエスニシティ：ポストナショナリズム時代の関係」

詳しくはこちら

民族の概念は多義的であり、対象を分析し評価するための概念としては扱いが難しいということが認識されてきました。しかしながら、概念の全体を十分に理解し注意することにより、民族は他の表現では代替できない非常に有用な概念となります。本シンポジウムでは、国家や権力主体が民族を単位にした市民・国民への作用に注目し、人々と国家との関係のなかで民族が実体化されている諸相を明らかにします。公式、非公式な関係を通して、民族の存在が人々のなかで意識されていく過程を考えます。

日時 2024年11月30日(土)、12月1日(日) 10時～17時  
会場 本館2階第4セミナー室  
言語 日本語・英語(日英同時通訳付き)  
主催 国立民族学博物館  
定員 60名(要事前申込み/先着順)  
参加費 無料  
申込期間 11月22日(金)まで

国立民族学博物館  
National Museum of Ethnology

2024年11月30日(土)・12月1日(日)  
10時～17時(11月30日)  
会場 本館2階第4セミナー室  
言語 日本語・英語(日英同時通訳付き)  
主催 国立民族学博物館  
定員 60名(要事前申込み/先着順)  
参加費 無料  
申込期間 11月22日(金)まで

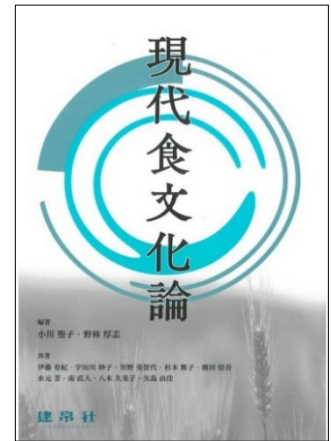
みんなく創設50周年記念 特別研究国際シンポジウム  
国家とエスニシティ  
ポストナショナリズム時代の関係

**Nation and Ethnicity:  
Relations in the Post-Nationalism Era.**  
Saturday, November 30th, and  
Sunday, December 1st, 2024, 10:00-17:00  
Location: Conference Room 4, National Museum of Ethnology  
Language: Face-to-face  
Website: <https://www.nmnh.ac.jp/ethnology/2024/11/30/>

— 野林 厚志 (学術資源研究開発センター 教授) —

『現代食文化論』

(小川聖子、野林厚志 編／建帛社)



— 野林 厚志 (学術資源研究開発センター 教授) —

『記憶と歴史の人類学』

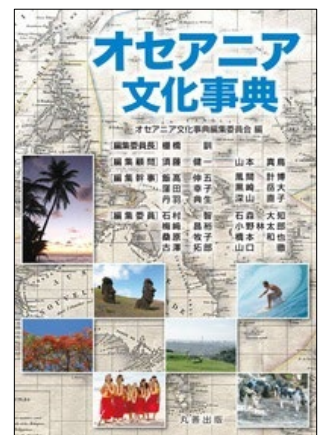
——東南アジア・オセアニア島嶼部における戦争・移住・他者接触の経験』

(風間計博、丹羽典生 編／風響社)



『オセアニア文化事典』

(オセアニア文化事典編集委員会 編／丸善出版)



— 丹羽 典生 (グローバル現象研究部 教授) —

## 『産後の〈風〉——病いの語りからみる韓国社会とジェンダー』

(諸昭喜 著／春風社)



— 諸 昭喜(グローバル現象研究部 准教授) —

## 7. 人間文化研究機構プロジェクト関連 X-DiPLAS シンポジウム

### 「地域研究アーカイブ画像の活かし方——地理学と歴史学の視点から考える」

[詳しくはこちら](#)

X-DiPLAS(学術知デジタルライブラリの構築)の目的は、散逸の危機に直面する地域研究画像資料のデジタル化・データベース化を通じて、画像研究資源のプラットフォームを構築することにあります。このプラットフォームは、画像研究資源を将来世代の研究者に継承するための重要なツールとなりうでしょう。



日 時 2024年12月8日(日) 13時30分~17時(13時開場)  
会 場 本館2階第4セミナー室  
解 説 石山俊(本館 プロジェクト研究員)  
研究発表 渡邊三津子(文教大学 准教授)、原隆一(大東文化大学  
名誉教授)、吉村武典(大東文化大学 准教授)  
コメント 永井正勝(人間文化研究機構/本館 特任教授)、  
岩谷洋史(姫路獨協大学 講師)  
主 催 人間文化研究機構 共創先導プロジェクト(共創促進研  
究)「学術知デジタルライブラリの構築」国立民族学博物  
館拠点(X-DiPLAS)  
定 員 対面50名、オンライン100名(要事前申込み/先着順)  
参 加 費 無料  
申込期間 12月4日(水)まで

— 石山 俊(グローバル現象研究部 プロジェクト研究員) —

※その他の配布資料 外国人研究員受入一覧(資料6)、刊行物報告書(資料7)



国立民族学博物館  
National Museum of Ethnology

お問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp